

令和8年度大学院入学試験専門試験問題
(中期募集)

教育実践高度化専攻

教科教育・教科複合実践研究コース

(芸術創造領域 音楽分野)

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 解答用紙のみ返送すること。なお、問題用紙は回収しない。

問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

◎ 音楽教育学

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 音楽』「第1編 総説」「第1章 平成29年改訂を踏まえた学習評価の改善」「4 平成29年改訂学習指導要領における各教科の学習評価」「(2)『思考・判断・表現』の評価について」では、『「思考・判断・表現」を評価するためには、教師は『主体的・対話的で深い学び』の視点から授業改善を通じ、児童生徒が思考・判断・表現する場면을効果的に設計したうえで、指導・評価することが求められる」としている*。

音楽科の授業で「児童生徒が思考・判断・表現する場면을効果的に設計したうえで、指導・評価する」には具体的にどう対応すればよいと考えられるか。実践事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。

*文部科学省国立教育政策研究所(2020)『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 音楽』東洋館出版社, p.9

◎ 声楽

『中学校学習指導要領(平成29年告示)』「第2章 各教科」「第5節 音楽」「第2 各学年の目標及び内容」〔第2学年及び第3学年〕「2 内容」「A 表現」には、「(1)歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」とあり、「イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。」として「(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり」とある*。同学習指導要領に示されている歌唱共通教材のうち「花の街」(江間章子作詞 團伊玖磨作曲)について、「曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり」の観点から解説するとともに、あなたはこの楽曲をどのように表現すべきだと考えるか、また、それを生徒に指導する際にはどのような手立てを用いればよいかについてあなたの考えを述べなさい。

*文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)』東山書房, p.101

◎ 器楽

あなたがこれまでに聴いた器楽の演奏のうち、特に感銘を受けたものを一つあげ、次の2点について論じなさい。

- ①その演奏に感銘を受けた理由
- ②あなたがそのような演奏を目指すために必要なこと

◎ 作曲

クラス授業における器楽の合奏指導を行う際、作曲に関して学んできた内容がどのように役立つと考えられるか。小学校または中学校での授業を想定し、具体的に述べなさい。

◎ 音楽学

平成4（1992）年に成立・施行した「地域伝統芸能等を活用した行事の実施による観光及び特定地域商工業の振興に関する法律」（通称「お祭り法」、現在も有効）第一条には、「地域伝統芸能等を活用した行事の実施が、地域の特色を生かした観光の多様化による国民及び外国人観光旅客の観光の魅力の増進に資するとともに、消費生活等の変化に対応するための地域の特性に即した特定地域商工業の活性化に資する」との見方が示されている。この見方をあなたはどのように評価するか、あなたの考えを述べなさい。その上で、真に地域の活性化に資する「地域の伝統芸能等を活用した行事」とはどのようなものが考えられるか、具体的なアイデアを述べなさい。